

平成29年度第2回狭山市廃棄物減量等推進審議会 会議録

開催日時 平成30年2月15日（木） 午前10時から午前11時10分

開催場所 奥富環境センター 4階 会議室

出席者 齊藤委員、谷口委員、関根委員、島寄委員、吉澤委員、吉川委員、林委員、
安永委員、山崎委員、畔上委員、磯部委員、古屋委員、湧井委員、加藤委員
以上 14名

欠席者 吉浦委員

事務局 吉田環境経済部長、神田環境経済部次長、立川資源循環推進課長、吉田稲荷山環
境センター所長
稲荷山環境センター：小林主幹
奥富環境センター：岡本所長、小巖主幹、河井主査、青柳主査
資源循環推進課：増島主幹、森主査、岡主査

傍聴者 なし

1 開 会

2 あいさつ 島寄会長

3 議 題

(1) 平成30年度生活ごみ収集日程の重複解消について

事務局：資料1に基づき、平成30年度生活ごみ収集日程の重複解消について説明する。
〔質疑応答〕

議 長：議題の(1)に関して、委員から意見・質問をお願いします。

委 員：ラミネート看板は良く出来ている。集積所にどのように貼る予定か。申請すれば分けてもらえるのか。

事務局：一部は職員で貼る予定であるが、申請があればお渡しできるよう対応したい。
カラーで作成するもので、色使いは生活ごみの分け方・出し方（カレンダー）
と同じ配色で考えている。

委 員：収集日程の変更で、曜日を間違わないように周知するには、集積所に看板のよ
うなもので掲示するのが良いと考えていたので、ラミネート看板は良い取組み
だ。職員で貼るのはプラスチックの収集日変更になる地区のみか。

事務局：職員で対応できる範囲として、プラスチックの収集日変更地区を考えている。
その他の品目に変更となる地区については、要望があればラミネート看板を配
布し、市民の皆さんで貼っていただくことも出来るように考えている。

(2)平成30年度狭山市一般廃棄物処理実施計画(案)について

事務局：資料に基づき、平成30年度狭山市一般廃棄物処理実施計画(案)について説明する。

[質疑応答]

議長：議題の(2)に関して、委員から意見・質問をお願いします。

委員：リサイクルプラザの活用、また環境教育について、狭山市では、小学校4年生の時にごみについて学ぶ時間があり、2つの環境センターに近い学校は見学し、見学が難しい学校へは市から出前講座として訪問するなどしているが、最近は学校側もあまり時間を割けず、短時間のカリキュラムのように見受けられる。こうした機会を通じて、ごみに関することも含め、広く、また深く、環境全般について考える勉強につなげてほしいので、そうした視点で、見学や出前講座の際には工夫をお願いしたい。

事務局：英語教育を始めとした、新たなカリキュラムが増える中で、子どもにごみや環境について考えてもらう、貴重な機会だと捉えている。効果的な環境教育の機会となるよう、委員の皆様からも助言をいただきながら取り組んでいきたい。

委員：カラス対策について、カラスに荒らされたごみを、作業員の方が掃除しながら収集作業にあたっていて、申し訳なく感じている。先日自治会を通して、黄色いネットを集積所にかぶせたところ、カラスが荒らさない状況が続いている。効果があるようだ。ぜひ、黄色いネットの効果を周知してほしい。

事務局：カラス対策は長年の課題となっており、特に、カラスが子育て時期となる春先からは苦情や問合せも多い。黄色いネットに関する情報があることは承知している。

委員：収集曜日の重複解消を知らせるチラシに、一部地域に関して、分かりづらい表現がある。今後の周知にあたってはより分かりやすい表現に改めた方が良くだろう。

事務局：より分かりやすい表現を意識し、引き続き、周知に努めたい。

委員：びん・缶の日に出すスプレーと、もやさないごみの日に出すスプレーとがある。スプレー缶の出し方に悩む時がある。

事務局：油などのスプレー缶はもやさないごみ、整髪料などのスプレー缶はびん・缶の日でお願いしている。悩まれている方がいると認識している。今後、より分かりやすい分け方・出し方についても研究していく。

議長：実施計画については、再度文書を審査し、内容に間違いのないようお願いする。

4 その他(事務局より説明)

- ・第1回会議で委員から指摘のあった点(ごみ処理経費、ごみ処理計画目標に対する実績値の分析)に対する説明について
- ・平成30年4月1日予定の組織改正について

5 閉会

提出資料

- ・平成29年度第2回狭山市廃棄物減量等推進審議会 次第
- ・資料1 平成30年度生活ごみ収集日程の重複解消について
- ・資料2 平成30年度狭山市一般廃棄物処理実施計画（案）